

校友会 史跡クラブ 行程表

日程 7月10日(水) 《雨天決行》
活動場所 浅草～向島
集合時間：場所 8時50分(時間厳守)：東武東上線池袋駅南口改札前
費用概算 昼食代・交通費他 ￥2,000程度
行程概要(午前) Jr池袋 9:05 ～ Jr上野 9:22
(JR山手線)
上野 9:29 ～ 浅草 9:35
(東京メトロ銀座線)
浅草寺 ～ 花川戸周辺 ～ 待乳山聖天 ～ 今戸神社
(昼食)向島のそば店(予約済)
(午後)言問団子 ～ 長命寺桜餅 ～ 弘福寺 ～ 三囲神社
～ 牛嶋神社 ～ 言問橋経由で浅草
浅草 16:33 ～ 上野 16:38
(東京メトロ銀座線)
Jr上野 16:45 ～ Jr池袋 17:02 池袋にて解散
(JR山手線)

● 浅草寺二天門

浅草寺の東門で、今の門は慶安2年(1649)に隨身門として建立された。明治になり神仏分離で鶴岡八幡宮から広目天・持国天の寄進を受け安置したが、修理先で戦災にあい焼失した。戦後上野寛永寺の厳有院(4代将軍家綱廟)から増長天(向かって左)・持国天(右)を拝領した。門は江戸時代初期の貴重な建造物として国の重要文化財に指定されている。

● 待乳山聖天

正式には本龍院といい浅草寺の子院のひとつである。山号を待乳山といい、本尊は歓喜天(聖天)・十一面観音で、待乳山聖天と称されている。歓喜天というのは、仏教の守護神で、元々はヒンドゥー教の神で財福をもたらすとされている。また待乳山というのは隅田川沿いの小高い丘で、推古天皇3年(595)に出現して龍がこの地を守ったと伝えられ、浅草寺の山号、金竜山の由来とされている。推古天皇9年(601)この地域が旱魃に見舞われた時に歓喜天が現れ人々を救済したといい、その靈驗に感謝してを祀ったものである。江戸時代には風光明媚な場所として文人墨客愛され、絵画や歌の題材とされている。

鬼平犯科帳等で著名な池波正太郎は、大正12年(1923)この地で生誕した。

● 三囲神社

宇迦御魂之命(穀物・豊穰の神)を主祭神とし、元は田中稻荷と称していた。創立年代は不詳だが伝えによると、文和年間(1353～55)近江国三井寺の僧源慶が、この地を訪れ社殿の改築をしようと掘ったところ壺が出土し中から宝珠と稲穂を持ち白狐に跨った神像出てきて、白狐が神像の周りを三回回ったという。三囲の名称はこれに由来する。元禄6年(1693)の旱魃の際、俳人宝井其角が雨乞いで「遊(ゆ)ふたちや 田を見めぐりの 神ならば」と、句を神前に奉ったところ雨が降ったことで、神社の名が広まった。三井家が江戸に進出すると、江戸本店の東北(鬼門)に当たることと、三囲の名前から「三井を守る」と考え守護社とした。

● 牛嶋神社

貞観年間(859～79)慈覚大師が須佐之男命の「我がために社を建立せよ、国土に騒乱あれば首に牛頭を戴き悪魔降伏の形相を現し天下安全の守護とならん」とのご神託を受け、御祭神として創祀した。治承4年(1180)源頼朝が平家追討の挙兵の際、隅田川の洪水を祈願により鎮めることが出来、翌年社殿を造営したという。天文7年(1538)後奈良上皇から「牛御前社」との勅号を賜った。明治になり牛嶋神社と称し、本所の総鎮守として崇拝を集めている。

※ 持ち物等 歩き易い靴・健康保険証・雨具・カメラ・飲料・スイカ/パスモ
連絡先 丸田純一